

平成22年度 春夏作野菜花き関係 除草剤・生育調節剤試験判定結果

財団法人 日本植物調節剤研究協会

平成22年度春夏作野菜花き関係除草剤・生育調節剤試験成績検討会は、平成22年12月15日(水)～16(木)に浅草ビューホテルにおいて開催された。

この検討会には、試験場関係者50名、委託関係者39名ほか、計108名の参集を得て、除草剤20薬剤(113点)、

生育調節剤4薬剤(16点)について、試験成績の報告と検討が行われた。

その判定結果および使用基準については、次の判定表に示す通りである。

平成22年度 春夏作野菜花き関係除草剤・生育調節剤試験供試薬剤および判定一覧

A. 野菜関係 除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種類・維 の別	試験担当場所 △は試験中など (数)	ねらい試験設計等	備考	判定	判定内容
1. AH-01 液 ダラシネートPナトリウム塩 11.5% [※明治製菓 北興化学工業]	ミカガ	適用性 継続	山形園試 植調研 (2)	ねらい 対象 雑草 一年生(稻) 全般 一年生(菜) 全般 多年生(稻) - 多年生(菜) - その他 設計 薬量 <水量> /10a 全面茎葉散布 萌芽前・雑草生育期(草丈30cm以下) 300ml <100L> 300ml <150L> 500ml <100L> 対) ハビシ液剤 萌芽前・雑草生育期(草丈30cm以下) 300ml <100L>	・展着剤不要	実	実) [春夏作:一年生雑草] ・萌芽前 雑草生育期(草丈30cm以下) ・全面茎葉処理 ・300～500ml<100～150L>/10a
	アサガ	適用性 継続	香川 (1)	ねらい 対象 雑草 一年生(稻) 全般 一年生(菜) 全般 多年生(稻) - 多年生(菜) - その他 設計 薬量 <水量> /10a 全面茎葉散布 萌芽前・雑草生育期(草丈30cm以下) 300ml <100L> 300ml <150L> 500ml <100L> 対) ハビシ液剤 萌芽前・雑草生育期(草丈30cm以下) 300ml <100L>	・展着剤不要	実・ 継	実) [春夏作:一年生雑草] ・萌芽前 雑草生育期(草丈30cm以下) ・全面茎葉処理 ・300～500ml<100～150L>/10a 継) ・300ml処理での年次変動の確認
	カブ	適用性 新規	石川植防 長野 野花試 島根 (3)	ねらい 対象 雑草 一年生(稻) 全般 一年生(菜) 全般 多年生(稻) - 多年生(菜) - その他 設計 薬量 <水量> /10a 畦間雑草茎葉散布 かぶ生育期・雑草生育期 300ml <100L> 300ml <150L> 500ml <100L> 対) ハビシ液剤 かぶ生育期・雑草生育期 300ml <100L>	・雑草の草丈30cm以下 の時期に散布する ・展着剤不要	継	継) ・効果、薬害の確認
	シカガ	適用性 新規	植調研 千葉大 環境健康F J鹿児島大隅 (3)	ねらい 対象 雑草 一年生(稻) 全般 一年生(菜) 全般 多年生(稻) - 多年生(菜) - その他 設計 薬量 <水量> /10a 全面茎葉散布 萌芽前・雑草生育期(草丈30cm以下) 300ml <100L> 300ml <150L> 500ml <100L> 参) ハビシ液剤 萌芽前・雑草生育期(草丈30cm以下) 300ml <100L>	・展着剤不要	継	継) ・効果、薬害の確認

A. 野菜関係 除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) 〔委託者〕	作物名	試験の 種・類 新・継 の 別	試験担当場所 〈は試験中など (数)	ねらい・試験設計 等	備 考	判定	判定内容
2. AK-01 液 クマゲートイソプロピルアミン 塩:41% 〔TAC普及会〕	ホレンソウ	適用性 継続	岩手 南部 栃木 (2)	ねらい 耕起前・全面茎葉散布 対象 雑草 一年生(科) 全般 一年生広葉 全般 多年生(科) - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 〈水量〉 /10a 雑草茎葉処理 耕起前 雑草生育期 (草丈 30cm以下) 250ml <100L> 500ml <100L> 対) 三共の草枯らし 耕起前 雑草生育期(草丈30cm以下) 500ml <100L>	・調査は効果完成後 (処理2週間後が目 安)に行い、調査後 に耕起、播種を行う ・展着剤不要	実・ 継	実) [春夏作:一年生雑草] ・耕起7日以前 雑草生育期(草丈30cm以下) ・全面茎葉処理 ・250~500mL<100L>/10a 注) ・砂壌土では薬害を生じる場合がある 継) ・薬害の発生要因について
	ホレンソウ	倍量薬害 継続	岩手 南部 (1)	ねらい 耕起7日前 対象 雑草 一年生(科) - 一年生広葉 - 多年生(科) - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 〈水量〉 /10a 雑草茎葉処理 耕起7日前 500ml <100L> 1000ml <100L> (倍量区)	・耕起後は速やかに 播種を行う ・展着剤不要		
	ニンジン	適用性 継続	J青森 栃木<中間> (2)	ねらい 耕起前・全面茎葉散布 対象 雑草 一年生(科) 全般 一年生広葉 全般 多年生(科) - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 〈水量〉 /10a 雑草茎葉処理 耕起前 雑草生育期 (草丈30cm以下) 250ml <100L> 500ml <100L> 対) 三共の草枯らし 耕起前 雑草生育期(草丈30cm以下) 500ml <100L>	・調査は効果完成後 (処理2週間後が目 安)に行い、調査後 に耕起、播種を行う ・展着剤不要	実・ 継	実) [春夏作:一年生雑草] ・耕起7日以前 雑草生育期(草丈30cm以下) ・全面茎葉処理 ・250~500mL<100L>/10a 継) ・砂壌土での年次変動の確認
	ニンジン	倍量薬害 継続	J青森 栃木<中間> (2)	ねらい 耕起7日前 対象 雑草 一年生(科) - 一年生広葉 - 多年生(科) - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 〈水量〉 /10a 雑草茎葉処理 耕起7日前 500ml <100L> 1000ml <100L> (倍量区)	・耕起後は速やかに 播種を行う ・展着剤不要		
3. ALH-0831 乳 クレシム:23% 〔アリスラファイゼンス〕	ホウチャ	適用性 新規	北海道花・野菜セ J北海道 (2)	ねらい 全面茎葉処理(イ科3~6L, 北海道) 対象 雑草 一年生(科) 全般(スズメノカタビラを含む) 一年生広葉 - 多年生(科) - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 〈水量〉 /10a 全面茎葉処理 生育期、雑草生育期(イ科3~6L) 50ml <100L> 75ml <100L> 比) ナブ 乳剤 生育期、雑草生育期(イ科3~6L) 150ml <100L>	・必要に応じて広葉 雑草の防除を行う ・展着剤不要	継	継) ・効果、薬害の確認
	ホウチャ	適用性 新規	植調研 (1)	ねらい 全面茎葉処理(イ科3~6L, 東北以南) 対象 雑草 一年生(科) 全般 一年生広葉 - 多年生(科) - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 〈水量〉 /10a 全面茎葉処理 生育期、雑草生育期(イ科3~6L) 50ml <100L> 75ml <100L> 比) ナブ 乳剤 生育期、雑草生育期(イ科3~6L) 150ml <100L>	・必要に応じて広葉 雑草の防除を行う ・展着剤不要		

A. 野菜関係 除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 >は試験中など (数)	ねらい 試験設計 等	備 考	判 定	判定内容
ALH-0831 乳つづき	ダイコン	適用性 新規	石川植防 栃木 (2)	ねらい 対象 雑草 一年生(科) 全般 一年生広葉 - 多年生(科) - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 <水量> /10a 全面茎葉処理 生育期、雑草生育期(イ科3〜6L) 50ml <100L> 75ml <100L> 比) ナブ乳剤 生育期、雑草生育期(イ科3〜6L) 150ml <100L>	・必要に応じて広葉 雑草の防除を行う ・展着剤不要	実	実) [春夏作、露地;一年生(イ科雑 草)] ・生育期 雑草生育期 (イ科雑草3〜6葉期) ・50〜75ml<100L>/10a ・全面茎葉処理 注) ・イ科雑草優占圃場で使用する ・広葉雑草が発生する場合は土壌 処理剤との体系処理で使用する
4. HCW-201 フォアフル DCMU・50% [*保土谷UPL 北興化学工業]	ヤマノイモ	適用性 新規	青森 野菜研 鹿兒島 熊毛 <中間> (2)	ねらい 対象 雑草 一年生(科) 全般 一年生広葉 全般 多年生(科) - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 <水量> /10a 畦間、茎葉兼土壌処理 生育期、雑草生育初期 100ml <100L> 100ml <100L> 150ml <100L> 200ml <100L> 比) フォックス水和剤 ヤマノイモ生育期、雑草生育初期 100g <100L>	・必要に応じて、植 付後土壌処理剤を 散布する ・雑草草丈15cm以下 で処理を行う	継	継) ・効果、薬害の確認
5. HPW-108 マイクロアブセ ル 既知化合物:45% [保土谷UPL]	タマネギ	作用性 新規	独 北海道農研 J北海道 (2)	ねらい 対象 雑草 一年生(科) 全般(スズノカタビラを含む) 一年生広葉 全般 多年生(科) - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 <水量> /10a 土壌処理 定植後、雑草発生前 200ml <100L> 300ml <100L> 400ml <100L> 比) コーナーン乳剤 定植後、雑草発生前 300ml <100L>		一	(作用性)
6. NC-360 フォアフル キダツアザール・7% [日産化学工業]	キャベツ	適用性 継続	北海道上川 J北海道 岩手 南部 福島 浜地域 愛知 (5)	ねらい 対象 雑草 一年生(科) 全般(スズノカタビラを除く) 一年生広葉 - 多年生(科) - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 <水量> /10a 茎葉処理(全面茎葉処理) 生育期、イ科雑草生育期(3〜6L期) 200ml <25L> 200ml <50L> 200ml <100L> 対) ナブ乳剤 イ科雑草3〜6L期 200ml <100L>	・必要に応じて広葉 雑草の防除を行う ・散布水量25, 50L処 理は少水量散布用ノ ズルを使用する	実・ 継	実) [春夏作、露地;一年生(イ科雑 草(スズノカタビラを除く))] ・生育期 雑草生育期 (イ科雑草3〜6葉期) ・全面茎葉処理 ・200ml<25〜100L>/10a (水量25〜50Lは専用ノズルを使用する) 継) ・年次変動の確認
	ハウダイ	適用性 継続	北海道上川 J北海道 福島 植調研 長野 野花試 (5)	ねらい 対象 雑草 一年生(科) 全般(スズノカタビラを除く) 一年生広葉 - 多年生(科) - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 <水量> /10a 茎葉処理(全面茎葉処理) 生育期、イ科雑草生育期(3〜6L期) 200ml <25L> 200ml <50L> 200ml <100L> 対) ナブ乳剤 イ科雑草3〜6L期 200ml <100L>	・必要に応じて広葉 雑草の防除を行う ・散布水量25, 50L処 理は少水量散布用ノ ズルを使用する	実・ 継	実) [春夏作、露地;一年生(イ科雑 草(スズノカタビラを除く))] ・生育期 雑草生育期 (イ科雑草3〜6葉期) ・全面茎葉処理 ・200ml<25〜100L>/10a (水量25〜50Lは専用ノズルを使用する) 継) ・年次変動の確認
	ダイコン	適用性 新規	北海道十勝 J北海道 石川植防 栃木 愛知 (5)	ねらい 対象 雑草 一年生(科) 全般(スズノカタビラを除く) 一年生広葉 - 多年生(科) - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 <水量> /10a 茎葉処理(全面茎葉処理) 生育期、イ科雑草生育期(3〜6L期) 200ml <25L> 200ml <100L> 300ml <25L> 参) ナブ乳剤 イ科雑草3〜5L期 200ml <100L>	・必要に応じて広葉 雑草の防除を行う ・散布水量25L処理 は少水量散布用ノズ ルを使用する	継	継) ・効果、薬害の確認

A. 野菜関係 除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) 〔委託者〕	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 <試験中など (数)>	ねらい・試験設計 等	備 考	判 定	判定内容
NC-360 フェンプロパキ つづき	タマネギ	適用性 新規	北海道十勝 J北海道 石川植防 栃木 愛知 (5)	ねらい 対象 雑草 一年生科 全般(スミシカバノコ除く) 一年生広葉 - 多年生科 - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 <水量> /10a 200ml <25L> 200ml <100L> 300ml <25L> 対) ナブ乳剤(イ科雑草3~5L期 200ml <100L>)	・必要に応じて広葉 雑草の防除を行う ・散布水量25L処理 は少量散布用ノズルを使用する	継	・効果、薬害の確認
7. NC-622 液 ナリホートカリウム塩:48% 〔日産化学工業〕	タマネギ	適用性 新規	北海道北見 <中間> J北海道<中間> (2)	ねらい 対象 雑草 一年生科 - 一年生広葉 - 多年生科 - 多年生広葉 - その他 スミナ 設計 薬量 <水量> /10a 1500ml <25L> 1500ml <100L> 2000ml <25L>	・翌春のスキヤ再生防 止効果を調査する ・散布水量25L処理 は少量散布用ノズルを使用する	保 留	-
	タマネギ	伝播薬害 新規	北海道北見 <中間> J北海道<中間> (2)	ねらい 対象 雑草 一年生科 - 一年生広葉 - 多年生科 - 多年生広葉 - その他 設計 薬量 <水量> /10a 2000ml <25L> 4000ml <25L> (伝播区)	・処理翌春に植付け たタマネギへの影響を 調査する ・少量散布用ノズル を使用する		
	薬用 ニンジン	適用性 継続	福島 会津 (1)	ねらい 対象 雑草 一年生科 全般 一年生広葉 全般 多年生科 - 多年生広葉 - その他 設計 薬量 <水量> /10a 200ml <25L> 200ml <100L> 400ml <25L>	・雑草草丈30cm以下 の時期に散布する ・散布水量25L処理 は少量散布用ノズル を使用する	実	実)〔春夏作、一年生雑草〕 ・生育期 雑草生育期 ・畦間茎葉処理 ・200~400mL<25~100L>/10a (水量25~50Lは専用ノズルを使用する) 注) ・雑草の草丈 30cm 以下で散布する。 ・作物に飛散しないように散布する。
8. SL-122 顆粒水和 フルゲンホップ P:7% リニロン:30% 〔石原産業〕	ニンジン	適用性 新規	京都 丹後 島根<中間> 南九州大 (3)	ねらい 対象 雑草 一年生科 全般 一年生広葉 全般 多年生科 - 多年生広葉 - その他 設計 薬量 <水量> /10a 170g <100L> 250g <100L> 300g <100L> 330g <100L> 対) ロックス水和剤 ニンジン播種後出芽前 150g <100L>	・適湿土壌条件下で処 理を行う ・農着剤不要	実 ・継	実)〔春夏作、露地、一年生雑草〕 ・生育期 (3~5葉期) 雑草生育期(草丈20cm以下) ・全面茎葉兼土壌処理 ・170~250g<100L>/10a 継) ・播種後出芽前処理での効果、薬害の確認(東北以南) ・生育期処理での年次変動の確認(北海道) ・生育期処理での薬害の発生要因について
	ニンジン	適用性 継続	北海道十勝 J北海道 J青森 京都 丹後 島根 (5)	ねらい 対象 雑草 一年生科 全般 一年生広葉 全般 多年生科 - 多年生広葉 - その他 設計 薬量 <水量> /10a 170g <100L> 200g <100L> 250g <100L> 対) ロックス水和剤 ニンジン生育期 (3~5葉期) 150g <100L>	・処理時のニンジン葉 節および雑草葉節を 記録する ・農着剤不要		

A. 野菜関係 除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) 〔委託者〕	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 >は試験中など (数)	ねらい・試験設計 等	備 考	判 定	判定内容
9. SL-236(L) 乳 剤タイプ P:17.5% 〔石原産業〕	トマト	適用性 継続	J北海道	(1) ねらい 対象 雑草 一年生科 全般(スズメノカタビラ除く) 一年生広葉 - 多年生科 - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 <水量> /10a 75ml <25L> 100ml <25L> 対) 一任 茎葉処理 たまねぎ生育期、イネ科雑草3~5葉期	・必要に応じて広葉 雑草の防除を行う ・散布水量25.50L処 理は少量散布用ノ ズルを使用する	実 (従 来 ど お り)	実) [春夏作、露地;一年生イネ科雑 草(スズメノカタビラを除く)] ・生育期 雑草生育期 (イネ科雑草3~5葉期) ・全面茎葉処理 ・50~75ml<100L>/10a ・生育期 雑草生育期 (イネ科雑草3~5葉期) ・全面茎葉処理 ・75~100ml<25~100L>/10a (水量25~50Lは専用ノズルを使用 する)
	トマト	倍量薬害 新規	北海道北見 J北海道	(2) ねらい 対象 雑草 一年生科 - 一年生広葉 - 多年生科 - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 <水量> /10a 100ml <25L> 200ml <25L> (倍量区) 茎葉処理 たまねぎ生育期	・展着剤不要		
10. TMZ-9911 液 剤タイプ:99% 〔アグロファイン〕	ショウガ	適用性 継続	植調研 千葉大 環境健康F (2)	(2) ねらい 対象 雑草 一年生科 全般 一年生広葉 全般 多年生科 - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 <水量> /10a 10kg 15kg 20kg 比) カラビリ 植付前、雑草発生前 30L(3ml)	・3日間くん蒸処理 後、被覆を除去、そ の7日後を目安に耕 起、さらに3日以上 放置し、定植する	実	実) [春夏作、露地;一年生雑草] ・植付前 雑草発生前 ・土壌くん蒸処理 ・10~20kg/10a 注) ・薬剤容器を被覆資材下に設置 し、くん蒸処理後3日間密閉、放 置する。処理4日後に被覆除去 し、処理後7日を目安に耕起す る。耕起4日以後に植付ける。 ・カワヅグサには効果が劣る
	アスパラ ガス	倍量薬害 新規	長野 北信 広島 三木 福岡 筑後	(2) ねらい 対象 雑草 一年生科 全般 一年生広葉 全般 多年生科 - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 <水量> /10a 600ml <100L> 600ml <150L> 1000ml <100L> 茎葉処理 萌芽前(雑草生育期、草丈20cm以下)	・散布前に萌芽して いる若茎は除去す る ・展着剤不要	実 ・継	実) [春夏作;一年生雑草] ・萌芽前 雑草生育期(草丈20cm以下) ・全面茎葉処理 ・600~1000ml<100~150L>/10a 継) ・年次変動の確認
11. YF-65L 液 剤タイプ:7.0% パラコート:5.0% 〔シシエンタ ジャパン〕	アスパラ ガス	適用性 継続	長野 北信 広島 三木 福岡 筑後	(4) ねらい 対象 雑草 一年生科 全般 一年生広葉 全般 多年生科 - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 <水量> /10a 600ml <100L> 600ml <150L> 1000ml <100L> 茎葉処理 萌芽前(雑草生育期、草丈20cm以下)	・散布前に萌芽して いる若茎は除去す る ・展着剤不要	実 ・継	実) [春夏作;一年生雑草] ・萌芽前 雑草生育期(草丈20cm以下) ・全面茎葉処理 ・600~1000ml<100~150L>/10a 継) ・年次変動の確認
	アスパラ ガス	倍量薬害 新規	長野 北信 広島 三木 福岡 筑後	(2) ねらい 対象 雑草 一年生科 全般 一年生広葉 全般 多年生科 - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 <水量> /10a 600ml <100L> 600ml <150L> 1000ml <100L> 茎葉処理 萌芽前(雑草生育期、草丈20cm以下)	・散布前に萌芽して いる若茎は除去す る ・展着剤不要	実 ・継	実) [春夏作;一年生雑草] ・萌芽前 雑草生育期(草丈20cm以下) ・全面茎葉処理 ・600~1000ml<100~150L>/10a 継) ・年次変動の確認
12. 2K-122 液 剤タイプ:44.7% 〔シシエンタ ジャパン〕	アスパラ ガス	適用性 継続	香川 <中間> 福岡 筑後	(2) ねらい 対象 雑草 一年生科 全般 一年生広葉 全般 多年生科 全般 多年生広葉 全般 その他 スギナ 設計 薬量 <水量> /10a 500ml <25L> 500ml <100L> 1000ml <25L> 茎葉処理 春期収穫打ち切り後、萌芽前、 雑草生育期(草丈30cm以下)	・散布前に萌芽して いる若茎は除去す る ・散布水量25L処理 は少量散布用ノズ ルを使用する ・展着剤不要	実 ・継	実) [春夏作;一年生雑草] ・春期収穫打ち切り後(萌芽前) 雑草生育期(草丈30cm以下) ・全面茎葉処理 ・500~1000ml<25~100L>/10a (水量25~50Lは専用ノズルを使 用する) 注) ・散布後萌芽する若茎に曲がりや 先端枯死などの薬害を生じる 場合がある 継) ・スギナに対する効果の確認
	アスパラ ガス	倍量薬害 新規	香川 <中間> 福岡 筑後	(2) ねらい 対象 雑草 一年生科 全般 一年生広葉 全般 多年生科 全般 多年生広葉 全般 その他 スギナ 設計 薬量 <水量> /10a 500ml <25L> 500ml <100L> 1000ml <25L> 茎葉処理 春期収穫打ち切り後、萌芽前、 雑草生育期(草丈30cm以下)	・散布前に萌芽して いる若茎は除去す る ・散布水量25L処理 は少量散布用ノズ ルを使用する ・展着剤不要	実 ・継	実) [春夏作;一年生雑草] ・春期収穫打ち切り後(萌芽前) 雑草生育期(草丈30cm以下) ・全面茎葉処理 ・500~1000ml<25~100L>/10a (水量25~50Lは専用ノズルを使 用する) 注) ・散布後萌芽する若茎に曲がりや 先端枯死などの薬害を生じる 場合がある 継) ・スギナに対する効果の確認

A. 野菜関係 除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) 〔委託者〕	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 ＜試験中など (数)＞	ねらい・試験設計 等	備 考	判 定	判定内容
13. アラコール 乳 アトラロール:43% 〔*日産化学工業 日本農業〕	ブロッコリー	適用性 新規	山形図試中(中間) 植調研 福岡 豊前 (3)	ねらい 対象 雑草 一年生(科) 全般 一年生(葉) 全般 多年生(科) - 多年生(葉) - その他 設計 薬量 (水量) /10a 全面土壌処理 定植後、雑草発生前 150ml <100L> 200ml <100L> 対) 一任	・適湿土壌条件で処理を行う ・定植後すみやかに処理する	継	継) ・効果、薬害の確認
14. トラベッパサイト 油 アチルイグロノゾネート :20.0% 〔ハ・イェルロップ・サイエンス〕	柿	適用性 新規	植調研 広島 福岡 油日(自主) (4)	ねらい 対象 雑草 一年生(科) 全般 一年生(葉) 全般 多年生(科) - 多年生(葉) - その他 設計 薬量 (水量) /10a 土壌くん蒸処理 植え付けの30日前まで 30L(3ml/穴) 40L(4ml/穴)	・30cm間隔のすりに点注器を用い深さ12～15cmに所定量を注入する ・処理後被覆し、7～10日後にすきする	継	継) ・効果、薬害の確認
14. トラベッパサイト 油 アチルイグロノゾネート :20.0% 〔ハ・イェルロップ・サイエンス〕	イチゴ	適用性 新規	栃木 いちご研 三重 <中間> 福岡 油日(自主) (4)	ねらい 対象 雑草 一年生(科) 全般 一年生(葉) 全般 多年生(科) - 多年生(葉) - その他 設計 薬量 (水量) /10a 土壌くん蒸処理 植え付けの21日前まで 30L(3ml/穴) 40L(4ml/穴)	・30cm間隔のすりに点注器を用い深さ12～15cmに所定量を注入する ・処理後被覆し、7～10日後にすきする	保 留	-
15. プロビザイト 水和 プロビザイト:50% 〔タケナカ日本〕	シュンギク	適用性 新規	植調研 福岡農試 (自主) (2)	ねらい 対象 雑草 一年生(科) 全般 一年生(葉) 全般 多年生(科) - 多年生(葉) - その他 設計 薬量 (水量) /10a 全面土壌処理 播種後出芽前、雑草発生前 300g <70L> 600g <70L>; 倍量薬害区		継	継) ・効果、薬害の確認

B-1. 平成21年度春夏作分 野菜関係 除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) 〔委託者〕	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 ＜試験中など (数)＞	ねらい・試験設計 等	備 考	判 定	判定内容
1. NC-622 液 グリホサートカリウム塩:48% 〔日産化学工業〕	ピーマン	倍量薬害 継続	石川砂丘地 (1)	ねらい 対象 雑草 生育期、畦間処理(倍量薬害) 一年生(科) - 一年生(葉) - 多年生(科) - 多年生(葉) - その他 設計 薬量 (水量) /10a 畦間茎葉処理 ピーマン生育期 500ml <25L> 1000ml <25L> (倍量区)	・畦間処理の砂壌土における薬害の確認 ・作物に飛散しないように注意 ・少量散布ノズルを使用する ・展着剤不要	実 (従 来 ど お り)	実) [春夏作:一年生雑草] ・生育期 雑草生育期 ・畦間茎葉処理 ・200～500mL<25～100L>/10a (25～50Lは専用ノズルを使用する) 注) ・作物に飛散しないように散布する ・雑草の草丈30cm以下で散布する

B-2.平成21年度秋冬作分 野菜関係 除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 <>は試験中など (敬)	ねらい・試験設計 等		備 考	判 定	判定内容
3. ALH-0831 乳 剤 1.23% [アライサイエンス]	ダイコン	適用性 継続	佐賀白石 (H21未了分) (1)	ねらい 対象 雑草	全面茎葉処理(イ科3~6L) 一年生(イ科) 全般(ス/ノ/カ/ビ/ヲを含む) 一年生広葉 多年生(イ科) 多年生広葉 その他		実	実) [秋冬作、露地;一年生イ科雑 草] ・生育期 雑草生育期 (イ科雑草3~6葉期) ・50~75mL<100L>/10a ・全面茎葉処理 注) ・イ科雑草僅占圃場で使用する ・広葉雑草が発生する場合は土壌 処理剤との体系処理で使用する
				設計 薬量 <水量> /10a	全面茎葉処理 生育期、雑草生育期(イ科3~6L) 50mL <100L> 75mL <100L> 比) 77 乳剤 生育期、雑草生育期(イ科3~6L) 150mL <100L>			

C. 花き関係 除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 <>は試験中など (敬)	ねらい・試験設計 等		備 考	判 定	判定内容
1. GG-180 粒 剤 1.0% DBN:0.5% [日本ケイマン・アーク ・アーク]	アサギ類	適用性 継続	東日本G研 新中國G研 福岡 果樹苗木 (3)	ねらい 対象 雑草	樹冠下土壌処理 花木生育期、雑草生育期(草丈10cm以下) 一年生(イ科) 全般 一年生広葉 全般 多年生(イ科) - 多年生広葉 - その他 スギナ	調査は処理60日後 を目安として効果 完成後に行う ・樹幹、枝葉に掛か らないように散布 する	実・ 継	実) [(アサギ・ササギ);一年生雑草] ・生育期 雑草生育期(草丈10cm以下) ・土壌処理 ・20~40kg/10a 注) ・樹幹、枝葉に掛からないように 散布する 継) ・スギナに対する効果の確認 ・連年使用した場合の被害の確認
2. NC-622 液 剤 48% [日産化学工業]	キク	適用性 新規	福島 長野 北信 福岡	ねらい 対象 雑草	時間茎葉処理 キク生育期 雑草生育期 一年生(イ科) 全般 一年生広葉 全般 多年生(イ科) - 多年生広葉 - その他	・雑草の草丈30cm以 下の時期に散布す る ・散布水量25L処理 は少水量散布用/バ スを使用する	継	継) ・効果、被害の確認
	キク	倍量薬害 新規	福島 福岡	ねらい 対象 雑草	茎葉処理(生育期時間処理) キク生育期、雑草生育期 200mL <25L> 200mL <100L> 500mL <25L> 対) 一仕 時間茎葉処理 キク生育期 雑草生育期 一年生(イ科) - 一年生広葉 - 多年生(イ科) - 多年生広葉 - その他 茎葉処理(生育期時間処理) キク生育期、雑草生育期 500mL <25L> 1000mL <25L> (倍量区)	・作物に飛散しない ように処理を行う ・処理は少水量散布 用/バスを使用する		

C. 花き関係 除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 <>は試験中など (数)	ねらい・試験設計 等	備 考	判 定	判定内容
3. SYJ-175 液 ナリホートナリム塩 :0.86% [シンジエンタ ジャパン]	ササ	適用性 新規	福島 東日本G研 新中国G研 福岡 果樹苗木 (4)	ねらい 樹冠下茎葉処理 花木生育期、雑草生育期(草丈30cm以下) 対象 雑草 一年生(科) - 一年生(葉) - 多年生(科) 全般 多年生(葉) - その他 - 設計 薬量 <水量> /10a 樹冠下茎葉処理 花木生育期、雑草生育期(草丈30cm以下) 25L<希釈せずそのまま散布> 50L<希釈せずそのまま散布> 対) わけ AL液剤 花木生育期、雑草生育期(草丈30cm以下) 100L<希釈せずそのまま散布>	・専用容器を用いて 処理を行う ・花木に飛散しない ように散布する	実・ 継	実) [(花木); 一年生雑草、多年生 雑草] ・生育期 雑草生育期 ・雑草茎葉処理 ・25～50L/10a(希釈せずそのま ま散布) 注) ・専用容器を使用する。 ・雑草の草丈30cm以下で散布す る。 ・作物に飛散しないように散布す る。
	ハミズキ	適用性 継続	東日本G研 新中国G研 福岡 果樹苗木 (3)	ねらい 樹冠下茎葉処理 花木生育期、雑草生育期(草丈30cm以下) 対象 雑草 一年生(科) - 一年生(葉) - 多年生(科) 全般 多年生(葉) - その他 - 設計 薬量 <水量> /10a 樹冠下茎葉処理 花木生育期、雑草生育期(草丈30cm以下) 25L<希釈せずそのまま散布> 50L<希釈せずそのまま散布> 対) わけ AL液剤 花木生育期、雑草生育期(草丈30cm以下) 100L<希釈せずそのまま散布>	・専用容器を用いて 処理を行う ・花木に飛散しない ように散布する	実・ 継	・試験された花木: ツツジ・ササ、アベリア、サザンカ、ハミズ キ、ベニカササチ、ササ 注) ・年次変動の確認(ササ) ・多年生(科)雑草に対する効果に ついて年次変動の確認 (アベリア)
4. YF-65L 液 シタワット:7.0% パラコート:5.0% [シンジエンタ ジャパン]	カーネーション	適用性 継続	広島 長崎 <中間> (2)	ねらい 畦間茎葉処理 カーネーション生育期 雑草生育期 対象 雑草 一年生(科) 全般 一年生(葉) 全般 多年生(科) - 多年生(葉) - その他 - 設計 薬量 <水量> /10a 畦間茎葉処理 カーネーション生育期 雑草生育期 600ml <100L> 600ml <150L> 1000ml <100L>	・雑草の草丈20cm以 下の時期に散布す る ・作物に飛散しない ように散布する	実	実) [春夏作(花き); 一年生雑草] ・生育期 雑草生育期 畦間茎葉処理 600～1000mL <100～150L/10a 注) ・雑草の草丈20cm以下で散 布 する。 ・作物に飛散しないように散布す る。
	ストック	適用性 継続	山形園試 岐阜 (2)	ねらい 畦間茎葉処理 ストック生育期 雑草生育期 対象 雑草 一年生(科) 全般 一年生(葉) 全般 多年生(科) - 多年生(葉) - その他 - 設計 薬量 <水量> /10a 畦間茎葉処理 ストック生育期 雑草生育期 600ml <100L> 600ml <150L> 1000ml <100L>	・雑草の草丈20cm以 下の時期に散布す る ・作物に飛散しない ように散布する		・試験された花き; ワケ、カーネーション、ストック、ユリ、リンドウ
	ストック	倍量薬害 新規	山形園試 岐阜 (2)	ねらい 畦間茎葉処理 ストック生育期 雑草生育期 対象 雑草 一年生(科) - 一年生(葉) - 多年生(科) - 多年生(葉) - その他 - 設計 薬量 <水量> /10a 畦間茎葉処理 ストック生育期 雑草生育期 1000ml <100L> 2000ml <100L> (倍量区)	・作物に飛散しない ように散布する		
	ユリ	適用性 継続	広島 鹿児島 (2)	ねらい 畦間茎葉処理 ユリ生育期 雑草生育期 対象 雑草 一年生(科) 全般 一年生(葉) 全般 多年生(科) - 多年生(葉) - その他 - 設計 薬量 <水量> /10a 畦間茎葉処理 ユリ生育期 雑草生育期 600ml <100L> 600ml <150L> 1000ml <100L>	・雑草の草丈20cm以 下の時期に散布す る ・作物に飛散しない ように散布する		

C. 花き関係 除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) 〔委託者〕	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 ＜＞は試験中など (数)	ねらい・試験設計 等	備 考	判 定	判定内容
YF-65L 液つづき	ユリ	信濃県 新規	広島 鹿兒島 (2)	ねらい 畦間茎葉処理 ユリ生育期 雑草生育期 対象 雑草 一年生(株) - 一年生広葉 - 多年生(株) - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 ＜水量＞ /10a 畦間茎葉処理 ユリ生育期 雑草生育期 1000ml <100L> 2000ml <100L> (信濃県)	・作物に飛散しない ように散布する		
	リンドウ	適用性 継続	岩手 茨城園研 (2)	ねらい 畦間茎葉処理 リンドウ生育期 雑草生育期 対象 雑草 一年生(株) 全般 一年生広葉 全般 多年生(株) - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 ＜水量＞ /10a 畦間茎葉処理 リンドウ生育期 雑草生育期 600ml <100L> 600ml <150L> 1000ml <100L>	・雑草の草丈20cm以下 の時期に散布する ・作物に飛散しない ように散布する		

D. 野菜関係 生育調節剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) 〔委託者〕	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 ＜＞は試験中など (数)	ねらい・試験設計 等	備 考	判 定	判定内容
1. AKD-8151 (L) 液 1-ナフチン酢酸トリム : 0.2% 〔777 株式会社〕	トマト	適用性 新規	静岡 南九州大 静岡県温室農業 協同組合 (H22秋冬作分) (3)	ねらい 果実肥大、ネット形成促進 設計 薬量 ＜水量＞ /10a 茎葉散布 縦ネット発生期～横ネット発生期(1回) 3000倍 <100～200ml/株> 4000倍 <100～200ml/株> 縦ネット発生期及び横ネット発生期(2回) 3000倍 <100～200ml/株> 4000倍 <100～200ml/株> 対) エピバール 乳剤 茎葉散布 縦ネット発生始期～交配後25日(2回) 2000倍 <50～100ml/株> 参) AKD-8151 (L) 茎葉散布 縦ネット発生期～横ネット発生期(1回又は2回) 2000倍 <100～200ml/株>	・果実品質への影響 を確認する	実・ 継 (従 来 ど お り) ・実)	〔果実肥大及びネット形成促進〕 ・縦ネット発生期～横ネット発生期 ・1000～2000倍<100～200ml/株> ・2回以内 ・株散布 ・3000～4000倍処理での効果の確 認

E. 花き関係 生育調節剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) 〔委託者〕	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 ＜＞は試験中など (数)	ねらい・試験設計 等	備 考	判 定	判定内容
1. NGR-081 水溶液 イソプロパノール: 0.01% 〔日本農薬〕	カーネーション	適用性 継続	栃木 <中間> 長野 北信 福岡 長崎 <中間> (4)	ねらい 挿し穂基部浸漬 設計 薬量 ＜水量＞ /10a 挿し穂基部浸漬 定植前 10ml/1L : 処理時間: 10秒、1時間 50ml/1L : 処理時間: 10秒、1時間 挿し穂全体浸漬 定植前 1ml/1L : 処理時間: 10秒、1時間 5ml/1L : 処理時間: 10秒、1時間 対) オキシヘン液剤 挿し穂基部浸漬 定植前 1000ml/1L 処理時間: 5秒 対) オキシヘン液剤 挿し穂基部浸漬 定植前 5ml/1L 処理時間: 24時間	・ミスト装置を備えた施設 で実施する	継 (継)	・効果、薬害の確認
	キク	適用性 継続	栃木 愛知 東三河 (2)	ねらい 挿し穂全体浸漬 設計 薬量 ＜水量＞ /10a 挿し穂全体浸漬 定植前 1ml/1L : 処理時間: 10秒、1時間 5ml/1L : 処理時間: 10秒 対) オキシヘン液剤 挿し穂全体浸漬 定植前 5ml/1L 処理時間: 10秒		実・ 継 (実)	〔キク; 発根促進〕 ・定植前 ・挿し穂基部浸漬 10～50mL/水1L (1～5ppm) 10秒～1時間 ・挿し穂全体浸漬 5mL/水1L (0.5ppm) 10秒～1時間 ・全体浸漬1mL/水1L処理での効 果、薬害の確認

E. 花き関係 生育調節剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 >は試験中など (数)	ねらい・試験設計 等	備 考	判 定	判定内容
2. タミシット® 水溶 タミシット®:80% [日本曹達]	ペチュニア	適用性 継続	広島 (1)	ねらい 伸長抑制による小型化 設計 茎葉処理 薬量 200倍 <50-150L> <水量L> 鉢上げ後1回、鉢上げ後2回、鉢上げ後4回 /10a 400倍 <50-150L> 鉢上げ後1回、鉢上げ後2回、鉢上げ後4回	・1回目:鉢上げ1週間後、2回目:1回目の1-2週間後、3回目:2回目の2-3週間後、4回目:3回目の1-2週間後	実・継	実) [ペチュニア;節間伸長抑制] ・鉢上げ後 ・200~400倍希釈 ・散布水量50~150L/10a 十分量 2~4回 ・茎葉処理 注) ・1回目は鉢上げ1週間後を目安として散布する。2回目以降は1~2週間間隔とする ・花色が薄くなる場合がある ・花が小型化する場合がある 継) ・1回処理での効果の確認
3. タミシット® スプレー タミシット®:0.4% [日本曹達]	ハボタン	適用性 継続	山形 置賜 群馬 兵庫 鳥取 園試 (4)	ねらい 伸長抑制による小型化 設計 茎葉処理 薬量 播種後1回 希釈せずそのまま散布 <十分量> <水量L> 播種後2回 希釈せずそのまま散布 <十分量> /10a 播種後4回 希釈せずそのまま散布 <十分量>	・1回目:播種10日後、2回目:播種20日後、3回目:鉢上げ3-5日後、4回目:3回目の1週間後	実・継	実) [ハボタン;節間伸長抑制] ・子葉展開時~鉢上げ後 ・希釈せずそのまま散布 十分量 2~4回 ・茎葉処理 注) ・1回目(子葉展開時)は播種後10日、2回目は播種後20日を目安として散布し、3回目は鉢上げ後3~5日後、4回目はその1週間後を目安とする ・使用時期が遅い場合には、着色(鈍色)が遅延する場合がある 継) ・2回処理での年次変動の確認 ・1回処理での効果の確認
	ペチュニア	適用性 継続	山形 置賜 兵庫 広島 (3)	ねらい 伸長抑制による小型化 設計 茎葉処理 薬量 定植後1回 希釈せずそのまま散布 <十分量> <水量L> 定植後4回 希釈せずそのまま散布 <十分量> /10a 定植後6回 希釈せずそのまま散布 <十分量>	・1回目:定植1週間後、2,3回目:1-2週間間隔、4回目:切り戻し直後、5,6回目:1-2週間間隔	実	実) [ペチュニア;節間伸長抑制] ・定植後 ・希釈せずそのまま散布 十分量 6回以内 ・茎葉処理 注) ・1回目は定植1週間後を目安として散布する(複数回散布をする場合は1~2週間間隔とする) ・花色が薄くなる場合がある ・花が小型化する場合がある